

資料4 歴まちに関する建築士会と自治体との連携に係る取組みの方向（活動モデル）

区分	自治体業務・地域課題	建築士会支援の現状	自治体連携の方向	建築士会の課題	
<p>建築住宅</p>	<p>歴史的建造物の保全活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発掘調査、耐震診断調査</li> <li>・人材養成</li> <li>・登録文化財等指定</li> <li>・リスト化（情報共有マップ化）</li> <li>・規制合理化・助成に係る円滑適用</li> <li>・職人、伝統的資材の確保</li> <li>・歴建空家の活用</li> <li>・歴建を核とするまちづくり</li> </ul> <p>歴建の災害時の調査復旧等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査復旧等</li> <li>・調査復旧等の位置付け</li> <li>・早期解体の回避</li> <li>・県間相互支援</li> <li>・模擬訓練</li> <li>・復旧に係る助成</li> </ul>	<p>調査受託（多士会 / 調査後の発展？）</p> <p>HM養成（多士会）</p> <p>HMによる指定に向けた支援</p> <p>歴史的建造物委員会の設置（岡山）</p> <p>職人等ネットワークの構築（静岡）</p> <p>活用ネットワークの構築（兵庫）</p> <p>歴まちづくりの提案等</p> <p>対応マニュアルの作成、HMの派遣</p> <p>九州ブロック士会間の支援協定の締結</p> <p>九州ブロックでの実施</p>	<p>調査協定の締結等（奈良...）</p> <p>HM活用の働きかけ（調査受託等）</p> <p>自治体指定・登録化支援の要請</p> <p>学会リストの適用（学会との協定）</p> <p>同意基準原案作成の受託等（同委員会支援・連合会）</p> <p>地域型木造住宅生産体制維持計画作成支援</p> <p>歴まち景観計画等策定支援（次項参照）</p> <p>（HM派遣に係る県等との協定の締結）</p> <p>県・士会相互支援協定の締結</p> <p>地域防災計画への記載の働きかけ</p>	<p>調査受託の拡大、活動の持続化</p> <p>HM全国展開・レベルアップ</p> <p>HM活動実績（指定・登録）の調査・公表</p> <p>リスト化対象歴建の要件</p> <p>同委員会の設置・役割の拡大（基準法適用除外同意基準モデルの作成等）</p> <p>ネットワークの拡大</p> <p>同上</p> <p>マニュアルの普及、派遣要領の作成、調査復旧の体制の構築</p> <p>応急危険度判定協議会との協議</p> <p>他ブロックへの拡大</p> <p>模擬訓練資金の確保</p>	<p>HMN全協との連携</p>
	<p>歴建の位置付け</p>	<p>包括協定の締結（徳島、兵庫）</p>	<p>包括協定の締結の拡大（歴建の発掘・登録・保全・活用に係る協定）</p>	<p>具体的施策の構築・実績</p>	

区分	自治体業務	建築士会支援の現状	自治体連携の方向	建築士会の課題	
都市計画等	<p>歴まち景観計画等（伝建地区保存活用計画・歴史的風致維持向上計画）の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観行政団体の位置づけ</li> <li>・基礎調査(景観特性の把握) 住民へのPR</li> <li>・景観計画等の策定（地区指定、景観形成基準*の策定、・景観重要建造物の指定等）</li> </ul>	<p>景観行政団体・市町村は 500 団体、うち 300 団体が計画策定済み。計画策定はコンサル。運用面で建築士に協力依頼もあるが、士会の関与は乏しい。</p> <p>歴建発掘調査等（多くの士会） 各種イベント、住民WS（同上） 景観計画等策定支援（富山）</p>	<p>景観計画には建築以外（開発行為等）の届出、景観重要公共施設の整備に係る事項など幅広い業務があり、士会単独の受託は厳しい？</p> <p>計画策定段階から建築関連事項の連携を目指す</p> <p>同調査の拡大 同イベント・WSの拡大 同計画等策定支援の拡大</p>	<p>コンサルとの連携 景観整備機構（士会）の活性化</p>	<p>* 基準の内容は規制の運用に応じ多様</p>
建築住宅	<p>歴まち景観計画等の運用（景観形成重点地区・地区計画等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観ガイドライン（建築仕様、サイン、緑化等）の作成</li> <li>・景観GLの普及</li> <li>・景観GL適合建築の誘導等</li> </ul> <p>人材養成、補助制度の創設</p> <p>景観GL適合審査 景観形成住民団体の承認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観GLの見直し</li> </ul>	<p>GL作成協力（富山）</p> <p>WS・相談会の運営（福井、富山）</p> <p>景観建築士・まちづくり建築士（兵庫、大阪、福井）</p> <p>事前審査（大分） 住民団体への助言等（京都現在中断） 見直し検討会への委員派遣（京都）</p>	<p>GL作成の受託*</p> <p>運営の受託</p> <p>人材養成の拡大</p> <p>審査の士会受託</p>	<p>人材の活用(自治体助成と連動、計画認定免除)</p> <p>歴建委員会の活用</p>	<p>*HOPE助成の復活</p>
	歴まちの位置付け	包括協定の締結（徳島、兵庫）	包括協定の締結の拡大	具体的施策の構築・実績	

区分	自治体業務	建築士会支援の現状	自治体連携の方向	建築士会の課題	
建築・住宅	空家等対策 ・空家等対策協議会の設置 ・空家等所在や所有者調査  ・データベースの整備 ・市町村空家計画の策定 ・相談窓口の設置 ・空家等及びその跡地の活用 人材養成 ・特定空家等に対する措置	協議会への参加（岐阜、富山…）    歴建活用支援 検査員の養成	協議会参加の拡大・事務局機能の受託 調査の受託  調査の受託 計画作成の受託	士会員の大量活用（含む会員拡大） 大学等との連携 歴建調査・HM活動の実績拡大  他分野との連携とそこでの士会の位置付け	